



日本共産党千代田地区委員会 くらし・雇用相談室長  
日本共産党千代田区議団 事務局長

こんにちは **牛尾こうじろう** です

耕二郎 2011年6月26日 第34号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索 住所：千代田区岩本町1-12-12-301 : 090-2406-7991  
Eメール：k-ushio@beetle.ocn.ne.jp 事務所：千代田区神田東松下町33 : 3251-2952



放射線の測定がおこなわれる昌平小

保育園、小学校・幼稚園などで放射線量の測定が  
放射線量の測定が  
おこなわれます  
千代田区は6月中に保育園、  
学校等の区立施設25か所と公  
園等で放射線量の測定を実施  
します。  
福島第一原発事故が収束の  
見通しがたたないなか、区民  
や子育て世代中心に「放射能  
の子どもへの影響が心配」  
「区独自に調査をしてほしい」  
などのこえや要望が寄せられ  
ています。今回の調査はこう  
した声を受けておこなわれる  
ものです。

## 学習会のお誘い

**「原発事故と私たちの暮らし」  
「水と食品の安全を考える」**

福島原発事故への不安はいまだに広がっています。この度、大妻女子大学名誉教授の池上幸江先生を招き、くらしの目線で今回の原発事故を考え、交流する学習会を企画しました。ぜひ、おいで下さい。

とき：7月9日(土) 午前10時~12時

場所：神田公園区民館3F洋室B

当日は保育室を設けています

講師： **池上幸江**さん  
(大妻女子大学名誉教授)

略歴：

1966年 厚生省国立栄養研究所 研究員

1987年 米国ミシガン州立大学 研究員

1992年 国立健康栄養研究所食品科学部長

1999年 大妻女子大学家政学部食物学科教授

現在、大妻大学名誉教授

著書：「食物繊維：基礎と応用」、「すぐに役立つ食物繊維の知識と献立」(ともに第一出版)

測定箇所や内容は次の通りです。  
土壌の放射線量測定  
富士見こども園、西神田保育園、九段小、昌平幼稚園。  
栽培野菜の放射線量測定  
栽培を実施している保育園  
6園、小学校(幼稚園)8校。  
芝生の放射線量測定  
富士見小。  
園庭の放射線量測定  
お茶の水、和泉、千代田、番町各小、四番町保育園、麹町幼稚園、神田一橋中。  
この他、区内の空間放射線も測定(七月半ば以降の予定)  
し測定結果をホームページ等で公表し保護者の方にも知らせます。今後、公園の砂場、こども池、学校プールなど測定箇所を拡大します。

いまなぜ「原発からの撤退」が必要か？

## 今の原発技術は未完成

福島第一原発の事故で原発は危険を伴うということがはつきりしました。大量の放射性物質がひとたび外部に放出されれば、抑える手段はなく被害はどこまでも広がり地域社会全体の存

続を危うくします。

そもそもいまの原発技術は未完成です。冷却水がなくなると炉心が溶けてコントロール不能となること、放射能を原子炉内部に閉じ込めておく完全な技術がないことが今回の事故で明らかになりました。

## 被災地へ届けてきます！ 救援物資カンパにご協力下さい

日本共産党千代田地区委員会  
沼市、南三陸町を中心に震災ボランティアを毎週派遣しています。私も近々参加し、救援募金、物資を届けたいと思っています。つきましては、ぜひ救援物資カンパやボランティアへのご協力を心より願います。  
必要なもの（大根など長

持ちする野菜、カップめん、缶詰、粉ミルクなどの食糧。夏服、新品の下着、靴下など衣類。タオル、トイレシート、ティッシュ、オムツ、サランラップなど）  
救援物資はご連絡いただければ取りに伺います。ボランティアについても左記、  
090 2406 7991  
牛尾までお願いします。

かになりました。

また、使用済み燃料棒などの放射性廃棄物の処理方法も現在は未確立です。

現在、使用済み核燃料は原発の中にたまるいっぽうで、管理や処理をどうするのか問題になっています。

福島原発事故をふまえ、原発撤退へ向かう時ではないでしょうか。（続く）

内神田に新しいスーパーができました

場所は内神田一丁目。以前の「スーパーカエデ」の跡です。



## 子育てパパのつぶやき

子どもが自然と触れ合える場所をもっと多く

この前、歩道で数人の子ども達がじゃれあって歩いていました。そのうちの一人の子が歩道の街路樹の根元にある小玉スイカぐらいの石を持ち上げ、「うおっ！ミミズがある！」とびっくりしていました。ほのぼのとした雰囲気を感じると同時に、「この子たちはこんな猫の額のような場所でない」とミミズが見られないのか」と思いました。千代田区は大きな公園がいくつもあり、皇居もあるので区民一人当たりの緑の量は多いのですが子どもたちが身近に土や虫などに触れる場所が少ない。都心千代田区では場所も大変ですが、子どもたちが泥んこになって遊べ、少しでも自然を感じとれるような公園が増えればと子どもたちを見て思いました。